

上中SDGs 2 飢餓をゼロに

文責 U.S

調べたこと

世界を生徒40人の教室と考えると29.6人は食料不安のない状態、6.5人がある程度の食料不安、3.9人が深刻な食料不安にある。

つまり、その日食べるものがない、明日以降も食べ物を得られるかわからないという人はクラスで**4人**もいる。

世界では**1分間に17人**が飢餓が原因で亡くなっている。

飢えを解消するにあたり、大量のワクチンが必要。私たちが食べているものを、1回も食べたことがない人に食べさせると脂が多かったり、一気に栄養を取りすぎたりすることが原因で病気になる。また、最悪の場合、死に至ることもある。そのため、栄養をとることに慣れるために、ワクチンを打ってから食事をする必要がある。

調べたこと(今、行っている活動)

○WFP(国連世界食糧計画)…貧しい人への食糧提供をしている。

―**学**校給食プログラム…学校給食を提供する。

―**母**子栄養支援…乳幼児やその母親に栄養強化の食料を届ける。

―**緊**急食糧支援…自然災害や紛争などで食糧不足の人に届ける。

感想

私たちの小さな心がけや意識が大きな力となって命を助けることができると分かりました。

自分たちが当たり前にご飯を食べられる状態にあることは、とても幸せなことなんだなと思いました。でも、だからこそ自分たちが幸せで終わるのではなく、今飢餓で苦しんでいる人たちを助けなければいけないと思います。

自分たちで"もて"きること

・30・10運動をする…宴会の最初の**30分**と最後の**10分**は自席で料理を楽しんで、食べ残しを減らす。

・フードバンク・フードドライブに参加する。

フードバンク…各家庭や企業から、安全に食べられるのに廃棄されてしまう食品を引き取り、無償で提供する活動・団体。

★名古屋に「セカンドハーベスト」というところがある。

フードドライブ…各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や福祉施設などに寄贈する活動。

★豊田中環境学習施設エコットや清掃事務所、福祉センターで行っている。

・募金…食べ残しをなくす、食べ切れる必要な分だけ買う。

「WFP」は様々な活動をしているんだなと知ることができました。私たちは学校給食を提供する側ではなく、食べる側です。私たちが残すということは、提供できた**はず**なのに捨てられてしまうということだと思います。改めて給食に**感謝**をし、残さずに食べましょう！

上中SDGs、第2回に参加していただきありがとうございました。前回と同様、皆さんがしっかり調べて、SDGsについて考えてくれてとてもうれしいです。コロナの影響で飢餓に苦しむ人が増えたそうです。コロナ対策も、もしかしたらSDGsにつながるかかもしれません。今回調べて学んだことを忘れず、これからの生活に生かしていってほしいなと思います。